



show running-config logging ~ show running-config vpn-sessiondb コマンド

show running-config logging

現在稼働しているロギング設定をすべて表示するには、特権 EXEC モードで *show running-config logging* コマンドを使用します。

```
show running-config [all] logging [level | disabled]
```

シンタックスの説明

all	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、ロギング設定を表示します。
disabled	(任意) ディセーブル化されたシステム ログメッセージの設定のみを表示します。
level	(任意) デフォルト以外の重大度を持つシステム ログメッセージの設定のみを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更
3.1	このコマンドは <i>show logging</i> コマンドから変更されました。

例 次に、*show running-config logging disabled* コマンドの例を示します。

```
hostname# show running-config logging disabled
no logging message 720067
```

関連コマンド

コマンド	説明
show logging	ログバッファの現在の内容、およびその他のログ設定を表示します。

show running-config logging rate-limit

現在のレート制限を超過したために禁止されたメッセージを表示するには、**show running config logging rate-limit** コマンドを使用します。

show running-config logging rate-limit

シンタックスの説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	FWSM にこのコマンドが追加されました。
3.1	show logging rate-limit コマンドから、 show running-config logging rate-limit に名前が変更されました。

使用上のガイドライン

情報が消去されると、ホストが接続を再確立するまで何も表示されません。

例

次に、禁止されたメッセージを表示する例を示します。

```
fwsm/context_name (config)# show logging rate-limit
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear logging rate-limit	レート制限の設定をデフォルト値にリセットします。

show running-config mac-address-table

実行コンフィギュレーション内の `mac-address-table static` および `mac-address-table aging-time` の設定を表示するには、特権 EXEC モードで `show running-config mac-address-table` コマンドを使用します。

`show running-config [all] mac-address-table`

シンタックスの説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、`show running-config mac-learn` コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mac-address-table
mac-address-table aging-time 50
mac-address-table static inside1 0010.7cbe.6101
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>firewall transparent</code>	ファイアウォールモードをトランスペアレントに設定します。
<code>mac-address-table aging-time</code>	ダイナミック MAC (メディア アクセス制御) アドレス エントリのタイムアウトを設定します。
<code>mac-address-table static</code>	MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
<code>mac-learn</code>	MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
<code>show mac-address-table</code>	ダイナミック エントリおよびスタティック エントリを含めて、MAC アドレス テーブルを表示します。

show running-config mac-learn

実行コンフィギュレーション内の **mac-learn** 設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-learn** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] mac-learn
```

シンタックスの説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース **変更**

2.2(1) このコマンドが追加されました。

3.1(1) このコマンドは **show mac-learn** から変更されました。

例

次に、**show running-config mac-learn** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mac-learn
mac-learn disable
```

関連コマンド

コマンド	説明
firewall transparent	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
mac-address-table static	MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
mac-learn	MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
show mac-address-table	ダイナミック エントリおよびスタティック エントリを含めて、MAC アドレス テーブルを表示します。

show running-config mac-list

指定された MAC（メディア アクセス制御）リスト番号を使用して、**mac-list** コマンドで指定された MAC アドレス リストを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-list** コマンドを使用します。

```
show running-config mac-list id
```

シンタックスの説明

<i>id</i>	16 進数の MAC アドレス リスト番号
-----------	-----------------------

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが CLI（コマンドライン インターフェイス）のガイドラインに適合するように変更されました。

使用上のガイドライン

show running-config aaa コマンドは、**mac-list** コマンドのステートメントを AAA（認証、認可、アカウントティング）設定の一部として表示します。

例

次に、MAC アドレス リストをすべて表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config mac-list
mac-list adc permit 00a0.ca5d.0282 ffff.ffff.ffff
mac-list adc deny 00a1.ca5d.0282 ffff.ffff.ffff
mac-list ac permit 0050.54ff.0000 ffff.ffff.0000
mac-list ac deny 0061.54ff.b440 ffff.ffff.ffff
mac-list ac deny 0072.54ff.b440 ffff.ffff.ffff
```

次に、*id* に **adc** を指定して、MAC アドレス リストを表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config mac-list adc
mac-list adc permit 00a0.ca5d.0282 ffff.ffff.ffff
mac-list adc deny 00a1.ca5d.0282 ffff.ffff.ffff
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac-list	先頭一致検索を使用して MAC アドレス リストを追加します。
clear configure mac-list	指定された mac-list コマンドのステートメントを削除します。
show running-config aaa	稼働中の AAA 設定値を表示します。

show running-config management-access

管理アクセスに設定された内部インターフェイスの名前を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config management-access** コマンドを使用します。

show running-config management-access

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更
3.1	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **management-access** コマンドを使用すると、*mgmt_if* で指定されたファイアウォール インターフェイスの IP アドレスを使用して、内部管理インターフェイスを定義することができます（インターフェイス名は **nameif** コマンドで定義され、**show interface** コマンドの出力では引用符 “ ” で囲まれて表示されます）。

例 次に、ファイアウォールインターフェイス [inside] を管理アクセスインターフェイスとして設定し、結果を表示する例を示します。

```
hostname# management-access inside
hostname# show running-config management-access
management-access inside
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure management-access	FWSM の管理アクセス用内部インターフェイスの設定を削除します。
management-access	内部インターフェイスを管理アクセス用に設定します。

show running-config mgcp-map

設定された MGCP マップを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mgcp-map** コマンドを使用します。

```
show running-config mgcp-map map_name
```

シンタックスの説明

<i>map_name</i>	指定された MGCP マップの設定を表示します。
-----------------	--------------------------

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show running-config mgcp-map コマンドは、設定された MGCP マップを表示します。

例

次に、**show running-config mgcp-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mgcp-map mgcp-policy
!
mgcp-map mgcp-policy
call-agent 10.10.11.5 101
call-agent 10.10.11.6 101
call-agent 10.10.11.7 102
call-agent 10.10.11.8 102
gateway 10.10.10.115 101
gateway 10.10.10.116 102
gateway 10.10.10.117 102
command-queue 150
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug mgcp	MGCP のデバッグ情報をイネーブルにします。
mgcp-map	MGCP マップを定義し、MGCP マップ コンフィギュレーションモードを開始します。
show conn	各接続タイプの接続状態を表示します。
show mgcp	FWSM を介して確立された MGCP セッションの情報を表示します。
timeout	各プロトコルおよびセッションタイプの最大アイドル時間を設定します。

show running-config monitor-interface

実行コンフィギュレーション内の **monitor-interface** コマンドをすべて表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config monitor-interface** コマンドを使用します。

show running-config [all] monitor-interface

シンタックスの説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての **monitor-interface** コマンドを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
2.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

monitor-interface コマンドは、デフォルトではすべての仮想インターフェイスでディセーブルです。デフォルト設定を表示するには、このコマンド内で **all** キーワードを使用する必要があります。

例

次に、**show running-config monitor-interface** コマンドの出力例を示します。最初に **all** キーワードを指定しないでこのコマンドを入力したため、出力されるのは、モニタリングがイネーブルになっているインターフェイスのみです。

```
hostname# show running-config monitor-interface
monitor-interface outside
hostname#
hostname# show running-config all monitor-interface
no monitor-interface inside
monitor-interface outside
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
monitor-interface	フェールオーバー用に指定されたインターフェイスのヘルスモニタリングをイネーブルにします。
clear configure monitor-interface	実行コンフィギュレーション内の monitor-interface コマンドを削除し、デフォルトのインターフェイスヘルスモニタリングスタンスを復元します。

show running-config mroute

コンフィギュレーション内のスタティック マルチキャスト ルート テーブルを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mroute** コマンドを使用します。

show running-config mroute

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、**show running-config mroute** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mroute
mroute 10.1.1.0 255.255.255.0 inside 3
```

関連コマンド

コマンド	説明
mroute	スタティック マルチキャスト ルートを設定します。

show running-config mtu

現在の Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) ブロック サイズを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mtu** コマンドを使用します。

```
show running-config mtu [interface_name]
```

シンタックスの説明

interface_name (任意) 内部または外部ネットワークのインターフェイス名

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show mtu から変更されました。

例

次に、**show running-config mtu** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mtu
mtu outside 1500
mtu inside 1500
mtu dmz 1500
hostname# show running-config mtu outside
mtu outside 1500
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure mtu	すべてのインターフェイスに設定された MTU 値を消去します。
mtu	インターフェイスに MTU を指定します。

show running-config multicast-routing

実行コンフィギュレーション内に **multicast-routing** コマンドが存在する場合に、このコマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config multicast-routing** コマンドを使用します。

show running-config *multicast-routing*

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **show running-config multicast-routing** コマンドは、実行コンフィギュレーション内の **multicast-routing** コマンドを表示します。実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** コマンドを削除するには、**clear configure multicast-routing** コマンドを入力します。

例 次に、**show running-config multicast-routing** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config multicast-routing
multicast-routing
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure multicast-routing	実行コンフィギュレーションから multicast-routing コマンドを削除します。
multicast-routing	FWSM のマルチキャスト ルーティングをイネーブルにします。

show running-config name

IP アドレスに関連付けられた名前 (name コマンドによって設定) のリストを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config name** コマンドを使用します。

show running-config name

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	show name コマンドが追加されました。
	3.1(1)	このコマンドが show running-config name に変更されました。

例 次に、IP アドレスに関連付けられた名前のリストを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config name
name 192.168.42.3 fwsm_inside
name 209.165.201.3 fwsm_outside
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure name	コンフィギュレーションから名前のリストを消去します。
	name	IP アドレスに名前を関連付けます。

show running-config nameif

実行コンフィギュレーション内のインターフェイス名設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nameif** コマンドを使用します。

```
show running-config nameif [mapped_name]
```

シンタックスの説明

mapped_name (任意) マルチ コンテキスト モードの場合、**allocate-interface** コマンドを使用して割り当てられたマッピング名を識別します。

デフォルト

インターフェイスを指定しない場合は、すべてのインターフェイス名設定が表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	show nameif コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが show running-config nameif に変更されました。

使用上のガイドライン

マルチ コンテキスト モードで、**allocate-interface** コマンド内でインターフェイス ID をマッピングした場合に、コンテキスト内で指定できるのはマッピング名のみです。

このコマンドを使用すると、**security-level** コマンドの設定も表示されます。

例

次に、**show running-config nameif** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config-if)# show running-config nameif
!
interface Vlan22
  nameif inside
  security-level 100
!
interface Vlan35
  nameif test
  security-level 0
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
allocate-interface	セキュリティ コンテキストにインターフェイスおよびサブインターフェイスを割り当てます。
clear configure interface	インターフェイスの設定を消去します。
interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
nameif	インターフェイス名を設定します。
security-level	インターフェイスのセキュリティ レベルを設定します。

show running-config names

IP アドレスから名前への変換を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config names** コマンドを使用します。

show running-config names

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	show names コマンドが追加されました。
	3.1(1)	このコマンドが show running-config names に変更されました。

使用上のガイドライン *names* コマンドと組み合わせて使用します。

例 次に、IP アドレスから名前への変換を表示する例を示します。

```
hostname(config-if)# show running-config names
name 192.168.42.3 sa_inside
name 209.165.201.3 sa_outside
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure name	コンフィギュレーションから名前のリストを消去します。
	name	IP アドレスに名前を関連付けます。
	names	name コマンドで設定できる、IP アドレスから名前への変換をイネーブルにします。
	show running-config name	IP アドレスに関連付けられた名前のリストを表示します。

show running-config nat

ネットワークに関連付けられたグローバル IP アドレスのプールを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nat** コマンドを使用します。

```
show running-config nat [interface_name] [nat_id]
```

シンタックスの説明

<i>interface_name</i>	(任意) ネットワーク インターフェイスの名前
<i>nat_id</i>	(任意) ホストまたはネットワークのグループ ID

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
2.2(1)	ローカル ホストの UDP 最大接続数をサポートするように、このコマンドが変更されました。
3.1(1)	このコマンドは show nat から変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、UDP プロトコルの最大接続数を表示します。UDP 最大接続数が設定されていない場合は、デフォルトで値 0 が表示され、最大接続数は適用されません。

例

次に、ネットワークに関連付けられたグローバル IP アドレスのプールを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config nat
nat (inside) 1001 10.7.2.0 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1001 10.7.2.32 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1001 10.7.2.64 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.96 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.128 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.160 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1003 10.7.2.192 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1003 10.7.2.224 255.255.255.224 0 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure nat	NAT (ネットワーク アドレス変換) の設定を削除します。
nat	ネットワークにグローバル IP アドレスのプールを対応付けます。

show running-config nat-control

NAT（ネットワーク アドレス変換）設定要件を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nat-control** コマンドを使用します。

show running-config nat-control

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、**show running-config nat-control** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config nat-control
no nat-control
```

関連コマンド

コマンド	説明
nat	別のインターフェイスのグローバルアドレスに変換される、インターフェイスのアドレスを定義します。
nat-control	NAT ルールを設定しなくても、内部ホストが外部ネットワークと通信できるようにします。

show running-config object-group

現在のオブジェクト グループを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config object-group** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] object-group [protocol | service | network | icmp-type | id obj_grp_id]
```

シンタックスの説明

icmp-type	(任意) ICMP タイプのオブジェクト グループを表示します。
id obj_grp_id	(任意) 指定されたオブジェクト グループを表示します。
network	(任意) ネットワーク オブジェクト グループを表示します。
protocol	(任意) プロトコル オブジェクト グループを表示します。
service	(任意) サービス オブジェクト グループを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show object-group から変更されました。

例

次に、**show running-config object-group** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config object-group
object-group protocol proto_grp_1
  protocol-object udp
  protocol-object tcp
object-group service eng_service tcp
  port-object eq smtp
  port-object eq telnet
object-group icmp-type icmp-allowed
  icmp-object echo
  icmp-object time-exceeded
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure object-group	コンフィギュレーションから object group コマンドをすべて削除します。
group-object	ネットワーク オブジェクト グループを追加します。
network-object	ネットワーク オブジェクト グループにネットワーク オブジェクトを追加します。
object-group	設定を最適化するオブジェクト グループを定義します。
port-object	サービス オブジェクト グループにポート オブジェクトを追加します。

show running-config passwd

暗号化されたログインパスワードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config passwd** コマンドを使用します。

```
show running-config {passwd | password}
```

シンタックスの説明

passwd | *password* どちらのコマンドも入力できます。表記が異なるだけで内容は同じです。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	show passwd コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが show running-config passwd に変更されました。

使用上のガイドライン

パスワードは暗号形式でコンフィギュレーションに保存されるため、入力後に元のパスワードを表示することはできません。表示されるパスワードには、パスワードが暗号化されていることを示す *encrypted* キーワードが付加されます。

例

次に、**show running-config passwd** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config passwd
passwd 2AfK9Kjr3BE2/J2r encrypted
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure passwd	ログインパスワードを消去します。
enable	特権 EXEC モードを開始します。
enable password	イネーブルパスワードを設定します。
passwd	ログインパスワードを設定します。
show curpriv	現在ログインしているユーザ名およびユーザ特権レベルを表示します。

show running-config pim

実行コンフィギュレーション内の PIM コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config pim** コマンドを使用します。

show running-config pim

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **show running-config pim** コマンドはグローバル コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドを表示します。ただし、インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドは表示されません。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドを表示するには、**show running-config interface** コマンドを入力します。

例 次に、**show running-config pim** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config pim

pim old-register-checksum
pim spt-threshold infinity
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure pim	実行コンフィギュレーションから pim コマンドを削除します。
show running-config interface	インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力されたインターフェイス コンフィギュレーション コマンドを表示します。

show running-config policy-map

すべてのポリシーマップ設定またはデフォルトのポリシーマップ設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config policy-map** コマンドを入力します。

show running-config [all] policy-map

シンタックスの説明

all (任意) デフォルトのポリシーマップ設定を表示します。

デフォルト

all キーワードを省略すると、明示的に設定されたポリシーマップ設定のみが表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

all キーワードを指定すると、明示的に設定されたポリシーマップ設定だけでなくデフォルトのポリシーマップ設定も表示されます。

例

次に、**show running-config policy-map** コマンドを使用してポリシー マップ localmap1 を表示する場合のコマンド出力例を示します。

```
hostname# show running-config policy-map
!
policy-map localmap1
  description this is a test.
  class firstclass
    ids promiscuous fail0close
  set connection random-seq# enable
  class class-default
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
policy-map	トラフィック クラスと 1 つ以上のアクションを関連付けたものであるポリシーを設定します。
clear configure policy-map	ポリシー設定全体を削除します。

show running-config prefix-list

実行コンフィギュレーション内の **prefix-list** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config prefix-list** コマンドを使用します。

show running-config prefix-list

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **prefix-list description** コマンドは常に、実行コンフィギュレーション内の対応する **prefix-list** コマンドの前に表示されます。入力順は重要ではありません。

例 次に、**show running-config prefix-list** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config prefix-list

!
prefix-list abc description A sample prefix list
prefix-list abc seq 5 permit 192.168.0.0/8 le 24
prefix-list abc seq 10 deny 10.0.0.0/8 le 32
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure prefix-list	実行コンフィギュレーションから prefix-list コマンドを消去します。

show running-config privilege

特定のコマンドまたはコマンドセットの権限を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config privilege** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] privilege [all | command command | level level]
```

シンタックスの説明

all	(任意) 最初のキーワード — デフォルトの特権レベルを表示します。
all	(任意) 2 番目のキーワード — すべてのコマンドの特権レベルを表示します。
command <i>command</i>	(任意) 特定のコマンドの特権レベルを表示します。
level <i>level</i>	(任意) 指定されたレベルを持つ設定済みコマンドを表示します。有効値は 0 ~ 15 です。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	show privilege コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show privilege から変更されました。

使用上のガイドライン

現在の特権レベルを表示するには、**show running-config privilege** コマンドを使用します。

例

```
hostname(config)# show running-config privilege level 0
privilege show level 0 command checksum
privilege show level 0 command curpriv
privilege configure level 0 mode enable command enable
privilege show level 0 command history
privilege configure level 0 command login
privilege configure level 0 command logout
privilege show level 0 command pager
privilege clear level 0 command pager
privilege configure level 0 command pager
privilege configure level 0 command quit
privilege show level 0 command version
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure privilege	コンフィギュレーションから privilege コマンドステートメントを削除します。
privilege	コマンドの特権レベルを設定します。
show curpriv	現在の特権レベルを表示します。
show running-config privilege	コマンドの特権レベルを表示します。

show running-config rip

RIP 設定に関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config rip** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] rip [interface_name]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>all</i>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての RIP コマンドを表示します。
	<i>interface_name</i>	(任意) 指定されたインターフェイスに対応する RIP コマンドのみを表示します。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	このコマンドが (show rip として) 追加されました。
	3.1(1)	このコマンドが show rip から show running-config rip に変更されました。

例 次に、RIP 情報を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config rip
rip outside passive version 2 authentication md5 thisisakey 2
rip outside default version 2 authentication md5 thisisakey 2
rip inside passive version 1
rip dmz passive version 2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure rip	実行コンフィギュレーションから RIP コマンドをすべて消去します。
	debug rip	RIP のデバッグ情報を表示します。
	rip	指定されたインターフェイスに RIP を設定します。

show running-config route

実行コンフィギュレーション内の **route** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config route** コマンドを使用します。

show running-config [all] route

シンタックスの説明 このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

デフォルト このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	このコマンドが (show route として) 追加されました。
	3.1(1)	このコマンドが show route から show running-config route に変更されました。

例 次に、**show running-config route** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config route
route outside 10.30.10.0 255.255.255.0 1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure route	コンフィギュレーションから connect キーワードを含まない route コマンドを削除します。
	route	インターフェイスのスタティックまたはデフォルト ルートを指定します。
	show route	ルート情報を表示します。

show running-config route-map

ルート マップの設定に関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config route-map** コマンドを使用します。

```
show running-config route-map [map_tag]
```

シンタックスの説明

map_tag (任意) ルートマップ タグ用のテキスト

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが (show route-map として) 追加されました。
3.1(1)	このコマンドが show route-map から show running-config route-map に変更されました。

使用上のガイドライン

コンフィギュレーション内で定義されたルートマップをすべて表示するには、**show running-config route-map** コマンドを使用します。各ルートマップを名前別に表示するには、**show running-config route-map map_tag** コマンドを使用します。ここで、*map_tag* はルートマップの名前です。複数のルート マップで同じマップ タグ名を共有することがあります。

例

次に、**show running-config route-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config route-map
route-map maptag1 permit sequence 10
  set metric 5
  match metric 3
route-map maptag1 permit sequence 12
  set metric 5
  match interface backup
  match metric 3
route-map maptag2 deny sequence 10
  match interface dmz
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure route-map	ルーティング プロトコル間でルートを再配布する条件を削除します。
route-map	ルーティング プロトコル間でルートを再配布する条件を定義します。

show running-config router

ルータ コンフィギュレーション内のグローバル コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config router** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] router [ospf [process_id]]
```

シンタックスの説明

all	デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのルータ コマンドを表示します。
ospf	(任意) コンフィギュレーション内の OSPF コマンドのみを表示します。
process_id	(任意) 選択された OSPF プロセスに対応するコマンドを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが (show ip router として) 追加されました。
3.1(1)	このコマンドが show router から show running-config router に変更されました。

例

次に、**show running-config router** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config router ospf 1
router ospf 1
  log-adj-changes detail
  ignore lsa mospf
  no compatible rfc1583
  distance ospf external 200
  timers spf 10 20
  timers lsa-group-pacing 60
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure router	実行コンフィギュレーションからルータ コマンドをすべて消去します。

show running-config same-security-traffic

セキュリティが同じインターフェイス通信を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config same-security-traffic** コマンドを使用します。

show running-config same-security-traffic {inter-interface | intra-interface}

シンタックスの説明

<i>inter-interface</i>	セキュリティ レベルが同じインターフェイス間の通信を許可します。
<i>intra-interface</i>	トラフィックが IPSec で保護されている場合に、同じインターフェイスとの通信を許可します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
2.2(1)	show-same-security-traffic コマンドおよび inter-interface キーワードが追加されました。
2.3(1)	intra-interface キーワードのサポートが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが show running-config same-security-traffic に変更されました。

例

次に、**show running-config same-security-traffic** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config same-security-traffic
same-security-traffic permit inter-interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
same-security-traffic	セキュリティ レベルが同じインターフェイス間の通信を許可します。

show running-config service

service 設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config service** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] service
```

シンタックスの説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show service から変更されました。

例

次に、システム サービスを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config service
service resetoutside
```

関連コマンド

コマンド	説明
service	システム サービスをイネーブルにします。

show running-config service-policy

現在稼働しているサービス ポリシー設定をすべて表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで *show running-config service-policy* コマンドを使用します。

show running-config service-policy

シンタックスの説明

default デフォルト サービス ポリシーを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース **変更**
3.1(1) このコマンドが追加されました。

例

次に、*show running-config service-policy* コマンドの例を示します。

```
hostname# show running-config service-policy
```

関連コマンド

コマンド	説明
show service-policy	サービス ポリシーを表示します。
service-policy	サービス ポリシーを設定します。
clear service-policy	サービス ポリシー設定を消去します。
clear configure service-policy	サービス ポリシー設定を消去します。

show running-config snmp-map

設定された SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) マップを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config snmp-map** コマンドを使用します。

```
show running-config snmp-map map_name
```

シンタックスの説明

<i>map_name</i>	指定された SNMP マップの設定を表示します。
-----------------	--------------------------

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show running-config snmp-map コマンドは、設定された SNMP マップを表示します。

例

次に、**show running-config snmp-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config snmp-map snmp-policy
!
snmp-map snmp-policy
deny version 1
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	セキュリティアクションを適用するトラフィッククラスを定義します。
deny version	特定のバージョンの SNMP を使用してトラフィックを禁止します。
inspect snmp	SNMP アプリケーション検査をイネーブルにします。
snmp-map	SNMP マップを定義し、SNMP マップ コンフィギュレーションモードをイネーブルにします。

show running-config snmp-server

現在稼働している SNMP サーバ設定をすべて表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで *show running-config snmp-server* コマンドを使用します。

```
show running-config [default] snmp-server
```

シンタックスの説明

default デフォルトの SNMP サーバ設定を表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	•	•	

コマンド履歴

リリース **変更**
3.1(1) このコマンドのサポートが追加されました。

例

次に、*show running-config snmp-server* コマンドの例を示します。

```
hostname# show running-config snmp-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server	SNMP サーバを設定します。
clear snmp-server	SNMP サーバの設定を消去します。
show snmp-server statistics	SNMP サーバの設定を表示します。

show running-config ssh

現在のコンフィギュレーション内の SSH コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ssh** コマンドを使用します。

```
show running-config [default] ssh [timeout | version]
```

```
show run [default] ssh [timeout]
```

シンタックスの説明

default	(任意) 設定された値とともに、デフォルト SSH 設定を表示します。
timeout	(任意) 現在の SSH セッション タイムアウト値を表示します。
version	(任意) 現在サポートされている SSH のバージョンを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	コマンドが show ssh から show running-config ssh に変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、現在の SSH 設定を表示します。SSH セッション タイムアウト値のみを表示するには、**timeout** オプションを使用します。アクティブな SSH セッションのリストを表示するには、**show ssh sessions** コマンドを使用します。

例

次に、SSH セッション タイムアウトを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config timeout
ssh timeout 5 minutes
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure ssh	実行コンフィギュレーションから SSH コマンドをすべて消去します。
ssh	指定されたクライアントまたはネットワークから FWSM への SSH 接続を許可します。
ssh scopy enable	FWSM 上でセキュアなコピー サーバをイネーブルにします。
ssh timeout	アイドルな SSH セッションのタイムアウト値を設定します。
ssh version	SSH Version 1 または SSH Version 2 を使用するように FWSM を制限します。

show running-config static

コンフィギュレーション内の **static** コマンドをすべて表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config static** コマンドを使用します。

```
show running-config static
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	このコマンドが追加されました。
	2.2(1)	ローカル ホストの UDP 最大接続数をサポートするように、このコマンドが変更されました。
	3.1(1)	このコマンドは show static から変更されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、UDP プロトコルの最大接続数を表示します。UDP 最大接続数が [0] の場合、または設定されていない場合は、制限は適用されません。

例 次に、コンフィギュレーション内のすべての **static** コマンドを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config static
static (inside,outside) 192.150.49.91 10.1.1.91 netmask 255.255.255.255
static (inside,outside) 192.150.49.200 10.1.1.200 netmask 255.255.255.255 tcp 255 0
```



(注) UDP 最大接続数は表示されていません。

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure static	コンフィギュレーションから static コマンドをすべて削除します。
	static	ローカル IP アドレスをグローバル IP アドレスにマッピングして、1 対 1 の永続的なアドレス変換ルールを設定します。

show running-config sunrpc-server

SunRPC 設定に関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config sunrpc-server** コマンドを使用します。

show running-config sunrpc-server

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、**show running-config sunrpc-server** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config sunrpc-server
inside 30.26.0.23 255.255.0.0 service 2147483647 protocol TCP port 2222 timeout
0:03:00
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure sunrpc-server	FWSM から SunRPC サービスを消去します。
	debug sunrpc	SunRPC のデバッグ情報をイネーブルにします。
	show conn	SunRPC を含む、各接続タイプの接続状態を表示します。
	sunrpc-server	SunRPC サービス テーブルを作成します。
	timeout	SunRPC を含む、各プロトコルおよびセッション タイプの最大アイドル時間を設定します。

show running-config sysopt

実行コンフィギュレーション内の **sysopt** コマンドの設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config sysopt** コマンドを使用します。

show running-config [all] sysopt

シンタックスの説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show sysopt から変更されました。

例

次に、**show running-config sysopt** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config sysopt
no sysopt connection timewait
sysopt connection tcpmss 1200
sysopt connection tcpmss minimum 400
no sysopt nodnsalias inbound
no sysopt nodnsalias outbound
no sysopt radius ignore-secret
sysopt connection permit-ipsec
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure sysopt	sysopt コマンドの設定を消去します。
sysopt connection permit-ipsec	インターフェイスの ACL (アクセス コントロール リスト) をチェックせずに、IPSec トンネルから着信するパケットをすべて許可します。
sysopt connection tcpmss	最大 TCP セグメント サイズを上書きしたり、最大値が必ず指定サイズ以上となるようにします。
sysopt connection timewait	最後の標準 TCP 停止シーケンス後も、各 TCP 接続が短縮された TIME_WAIT 状態にとどまるように設定します。
sysopt nodnsalias	alias コマンドを使用する場合に、DNS A レコードアドレスの変更を禁止します。

show running-config telnet

FWSM への Telnet 接続に使用できる現在の IP アドレス リストを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config telnet** コマンドを使用します。このコマンドを使用すると、FWSM によって終了されるまでの Telnet セッションのアイドル時間（分）も表示できます。

```
show running-config telnet [timeout]
```

シンタックスの説明

timeout	(任意) FWSM によって終了されるまでの Telnet セッションのアイドル時間（分）を表示します。
----------------	--

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

例

次に、FWSM への Telnet 接続に使用できる現在の IP アドレス リストを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config telnet
2003 Jul 15 14:49:36 %MGMT-5-LOGIN_FAIL:User failed to
log in from 209.165.200.225 through Telnet
2003 Jul 15 14:50:27 %MGMT-5-LOGIN_FAIL:User failed to log in from 209.165. 200.225
through Telnet
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure telnet	コンフィギュレーションから Telnet 接続を削除します。
telnet	コンソールへの Telnet アクセスを追加し、アイドル タイムアウトを設定します。

show running-config terminal

現在の端末設定を表示するには、特権 EXEC モードで *show running-config terminal* コマンドを使用します。

show running-config terminal

シンタックスの説明 このコマンドに引数またはキーワードはありません。

デフォルト デフォルト表示幅は 80 カラムです。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	show terminal コマンドが追加されました。
	3.1(1)	このコマンドが show running-config terminal に変更されました。

例 次に、ページ長の設定を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config terminal
Width = 80, no monitor
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<i>clear configure terminal</i>	端末の表示幅設定を消去します。
	<i>terminal</i>	端末行パラメータを設定します。
	<i>terminal width</i>	端末の表示幅を設定します。

show running-config tftp-server

デフォルトの TFTP（簡易ファイル転送プロトコル）サーバアドレスおよびディレクトリを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config tftp-server** コマンドを使用します。

show running-config tftp-server

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、デフォルト TFTP サーバの IP/IPv6 アドレス、およびコンフィギュレーション ファイルのディレクトリを表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config tftp-server
tftp-server inside 10.1.1.42 /temp/config/test_config
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure net	コンフィギュレーションを TFTP サーバ上の指定パスからロードします。
tftp-server	デフォルトの TFTP サーバアドレスおよびコンフィギュレーション ファイルのディレクトリを設定します。

show running-config time-range

設定済み時間範囲を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config time-range** コマンドを使用します。

```
show running-config time-range [time-range]
```

シンタックスの説明

time-range (任意) 設定済み時間範囲の名前。

デフォルト

time-range 値を省略すると、すべての時間範囲の設定が表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

例

設定済み時間範囲の実行コンフィギュレーションを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
hostname(config)# show running-config time-range
time-range test
absolute start 11:03 14 April 2006 end 11:06 14 April 2006
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure time-range	設定された時間範囲を消去します。
show time-range	時間範囲を表示します。

show running-config timeout

すべてのプロトコルまたは特定のプロトコルのタイムアウト値を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config timeout** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] timeout [protocol]
```

シンタックスの説明

all	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。
protocol	(任意) 指定されたプロトコルのタイムアウト値を表示します。サポートされているプロトコルは xlate 、 conn 、 udp 、 icmp 、 rpc 、 h323 、 h225 、 mgcp 、 mgcp-pat 、 sip 、 sip_media 、および uauth です。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show timeout から変更されました。

例

次に、システムのタイムアウト値を表示する例を示します。

```
hostname(config)# show timeout
timeout xlate 3:00:00
timeout conn 1:00:00 half-closed 0:10:00 udp 0:02:00 icmp 0:00:02 rpc 0:10:00 h3
23 0:05:00 h225 1:00:00 mgcp 0:05:00 mgcp-pat 0:05:00 sip 0:30:00 sip_media 0:02
:00
timeout uauth 0:00:00 absolute
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure timeout	デフォルトのアイドル期間に戻します。
timeout	最大アイドル期間を設定します。

show running-config tunnel-group

すべてのトンネル グループまたは指定されたトンネル グループのトンネル グループ情報、および tunnel-group 属性を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config tunnel-group** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] tunnel-group [name [general-attributes | ipsec-attributes | ppp-attributes]]
```

シンタックスの説明

all	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての tunnel-group コマンドを表示します。
general-attributes	一般属性の設定情報を表示します。
ipsec-attributes	IPSec 属性の設定情報を表示します。
name	トンネル グループ名を指定します。
ppp-attributes	PPP 属性の設定情報を表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•		•		
特権 EXEC	•		•		

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードでコマンドを入力し、すべてのトンネル グループの現在の設定を表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config tunnel-group
tunnel-group 209.165.200.225 type IPSec_L2L
tunnel-group 209.165.200.225 ipsec-attributes
pre-shared-key xyzx
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure tunnel-group	tunnel-group 設定を削除します。
tunnel-group general-attributes	指定されたトンネル グループの一般属性を指定するために、サブコンフィギュレーション モードを開始します。
tunnel-group ipsec-attributes	指定されたトンネル グループの IPSec 属性を指定するために、サブコンフィギュレーション モードを開始します。
tunnel-group	指定されたタイプの tunnel-group サブコンフィギュレーション モードを開始します。

show running-config url-block

URL フィルタリングで使用されるバッファおよびメモリ割り当てに関する設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-block** コマンドを使用します。

```
show running-config url-block [ block | url-mempool | url-size ]
```

シンタックスの説明

block	バッファリングされる最大ブロック数の設定を表示します。
url-mempool	許可される最大 URL サイズ (KB 単位) の設定を表示します。
url-size	ロング URL バッファに割り当てられたメモリ リソース (KB 単位) の設定を表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	show url-block コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show url-block から変更されました。

使用上のガイドライン

show running-config url-block コマンドは、URL フィルタリングで使用されるバッファおよびメモリ割り当ての設定を表示します。

例

次に、**show running-config url-block** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-block
!
url-block block 56
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-block block statistics	ブロック バッファ使用率カウンタを消去します。
show url-block	N2H2 または Websense フィルタリング サーバからの応答を待機する間に URL をバッファに格納するための URL キャッシュの情報を表示します。
url-block	Web サーバ応答に使用される URL バッファを管理します。
url-cache	N2H2 または Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュ サイズを設定します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 または Websense サーバを識別します。

show running-config url-cache

URL フィルタリングで使用するキャッシュ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-cache** コマンドを使用します。

show running-config url-cache

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	show url-cache コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show url-cache から変更されました。

使用上のガイドライン

show running-config url-cache コマンドは、URL フィルタリングで使用されるキャッシュ設定を表示します。

例

次に、**show running-config url-cache** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-cache
!
url-cache src_dst 128
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-cache statistics	コンフィギュレーションから url-cache コマンドのステートメントを削除します。
filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに転送します。
show url-cache statistics	N2H2 または Websense フィルタリング サーバからの応答を待機する間に URL をバッファに格納するための URL キャッシュの情報を表示します。
url-cache	N2H2 または Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュ サイズを設定します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 または Websense サーバを識別します。

show running-config url-server

URL フィルタリング サーバの設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-server** コマンドを使用します。

```
show running-config url-server
```

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	show url-server コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが show url-server から変更されました。

使用上のガイドライン

show running-config url-server コマンドは、URL フィルタリング サーバの設定を表示します。

例

次に、**show running-config url-server** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-server
!
url-server (perimeter) vendor websense host 10.0.1.1
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-server	URL フィルタリング サーバの統計情報を消去します。
show url-server	N2H2 または Websense フィルタリング サーバからの応答を待機する間に URL をバッファに格納するための URL キャッシュの情報を表示します。
url-block	フィルタリング サーバのフィルタリング判断を待機する間 Web サーバ応答で使用する URL バッファを管理します。
url-cache	N2H2 または Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュサイズを設定します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 または Websense サーバを識別します。

show running-config username

特定のユーザに対応した実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで、**show running-config username** コマンドにユーザ名を付加して使用します。すべてのユーザに対応した実行コンフィギュレーションを表示するには、ユーザ名を指定しないでこのコマンドを使用します。

```
show running-config [all] username [name] [attributes]
```

シンタックスの説明

attributes	ユーザ固有の AVP を表示します。
all	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての username コマンドを表示します。
name	ユーザの名前を指定します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
ユーザ名	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	show username コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show username から変更されました。

例

次に、ユーザ anyuser に **show running-config username** コマンドを使用する例を示します。

```
hostname# show running-config username anyuser
username anyuser password .8T1d61k58/lzXS5 encrypted privilege 3
username anyuser attributes
vpn-group-policy DefaultGroupPolicy
vpn-idle-timeout 10
vpn-session-timeout 120
vpn-tunnel-protocol IPSec
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear config username	ユーザ名データベースを消去します。
username	FWSM データベースにユーザを追加します。
username attributes	特定のユーザに対応した AVP を設定できるようにします。

show running-config virtual

FWSM 仮想サーバの IP アドレスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config virtual** コマンドを使用します。

show running-config [all] virtual

シンタックスの説明

all すべての仮想サーバの仮想サーバ IP アドレスを表示します。

デフォルト

all キーワードを省略すると、現在の仮想サーバ（複数可）に明示的に設定された IP アドレスが表示されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	show virtual コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは show virtual から変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、特権 EXEC モードで使用する必要があります。

例

次に、仮想 HTTP サーバがすでに設定されている場合の **show running-config virtual** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config virtual
virtual http 192.168.201.1
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure virtual	コンフィギュレーションから virtual コマンドのステートメントを削除します。
virtual	認証仮想サーバのアドレスを表示します。

show running-configuration vpn-sessiondb

現在設定されている vpnsessiondb コマンドセットを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-configuration vpn-sessiondb** コマンドを使用します。

show running-configuration [all] vpn-sessiondb

シンタックスの説明

all (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての **vpn-sessiondb** コマンドを表示します。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース **変更**
3.1(1) このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

Release 7.0 では、このコマンドは VPN 最大管理セッション制限のみを表示します (この制限が設定されている場合)。

例

次に、**show running-configuration vpn-sessiondb** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-configuration vpn-sessiondb
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpn-sessiondb	詳細を含めて、あるいは含めないで、セッションを表示します。指定した基準に従ってセッションをフィルタリングしたり、並べ替えることもできます。
show vpn-sessiondb summary	現在のセッションの総数、各タイプの現在のセッション数、最大累積セッション数、合計累積セッション数、最大同時セッション数など、セッションのサマリーを表示します。

